

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業413社を対象に実施し、300社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成24年1月～3月の実績、平成24年4月～6月の見込み、平成24年7月～9月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成24年3月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	183	130	71.0%
非 製 造 業	230	170	73.9%
計	413	300	72.6%

日銀が5月14日に公表した、北陸の金融経済月報(2012年5月)によると、「北陸の景気は、全体としては持ち直しの動きが続いているものの、一部でそのペースが穏やかになっている。

最終需要をみると、個人消費は横ばいで推移している。住宅投資は弱い動きとなっている。設備投資は総じてみれば穏やかに持ち直している。公共投資は減少傾向にあるものの、このところ前年を上回っている。

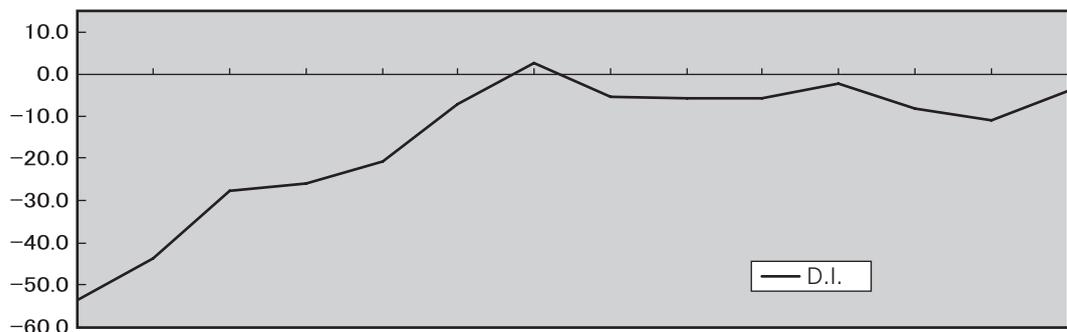
先行きについては、新興国・資源国に牽引されるかたちで海外経済の成長率が再び高まることや、震災復興関連の需要が徐々に強まっていくことなどを背景に、穏やかな回復経路に復していくとみられる。」としている。

I. 企業概況

企業概況の推移…… (全産業)

(%) 見込 予測

種別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良 い	3.4	3.6	7.9	11.0	11.1	16.2	20.8	17.5	19.4	15.4	17.9	15.1	8.9	9.2
普 通	39.8	49.0	56.4	52.0	56.8	60.5	61.1	59.5	55.4	63.2	61.8	61.6	71.2	77.4
悪 い	56.8	47.4	35.6	37.0	32.1	23.3	18.1	23.0	25.2	21.4	20.3	23.3	19.9	13.4
D . I .	-53.4	-43.9	-27.7	-26.0	-21.0	-7.1	2.7	-5.5	-5.8	-6.0	-2.4	-8.2	-11.0	-4.1

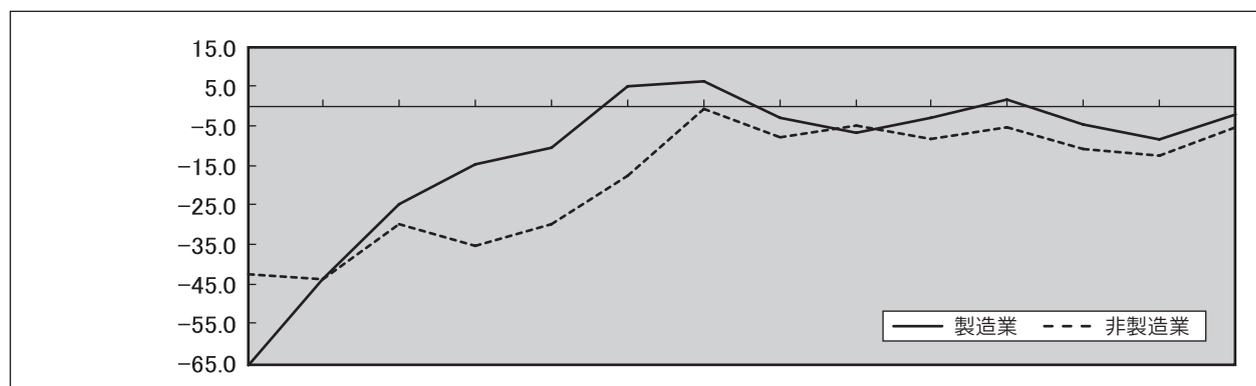


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		21 年			22 年			23 年			24 年			見込	予測
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
良	い	0.7	5.7	10.0	20.5	17.7	24.3	27.0	20.3	20.8	17.1	21.6	19.4	10.2	11.0
普	通	33.1	44.7	55.0	43.8	53.7	56.4	52.5	56.5	51.5	62.5	58.2	56.6	70.9	75.6
悪	い	66.2	49.6	35.0	35.6	28.6	19.3	20.6	23.2	27.7	20.4	20.1	24.0	18.9	13.4
D . I .		-65.6	-44.0	-25.0	-15.1	-10.9	5.0	6.4	-2.9	-6.9	-3.3	1.5	-4.7	-8.7	-2.4

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		21 年			22 年			23 年			24 年			見込	予測
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
良	い	5.8	1.8	6.1	2.9	5.4	9.0	15.3	15.0	18.2	13.9	15.0	11.7	7.9	7.9
普	通	45.7	52.7	57.7	59.0	59.5	64.1	68.8	62.1	58.7	63.9	64.7	65.6	71.5	78.8
悪	い	48.6	45.6	36.2	38.2	35.1	26.9	15.9	22.9	23.1	22.3	20.4	22.7	20.6	13.3
D . I .		-42.8	-43.8	-30.1	-35.3	-29.8	-17.9	-0.6	-7.8	-5.0	-8.4	-5.4	-11.0	-12.7	-5.5



(1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の24年1～3月期実績は▲8.2と前期比5.8ポイント悪化した。

先行きについて、24年4～6月期のD.I.は▲11.0、24年7～9月期のD.I.は▲4.1と改善予想となっている。

前回調査時の予想より、ポイントは改善予想となっている。

(2) 業況判断指数D.I.の24年1～3月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より6.2ポイント、非製造業は前期より5.6ポイントと、ともに悪化となった。

先行きについては、製造業、非製造業とも24年7～9月期には改善予想となっている。

しかし、4～6月期には一旦悪化し、改善へ向かう予想である。

II. 売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
増加	12.7	10.0	14.5	28.0	34.5	43.3	32.8	39.4	35.8	33.9	36.5	30.0	22.4	23.2
横ばい	24.1	24.9	29.9	36.2	34.8	30.2	35.5	40.8	36.6	39.8	35.9	41.4	54.8	61.1
減少	63.2	65.0	55.6	35.8	30.7	25.5	21.7	19.9	27.7	26.3	27.5	28.6	22.7	15.8
D. I.	-50.5	-55.0	-41.1	-7.9	3.8	18.8	21.1	19.5	8.0	7.5	9.1	1.3	-0.3	7.4

売上高状況 (うち製造業のみ)

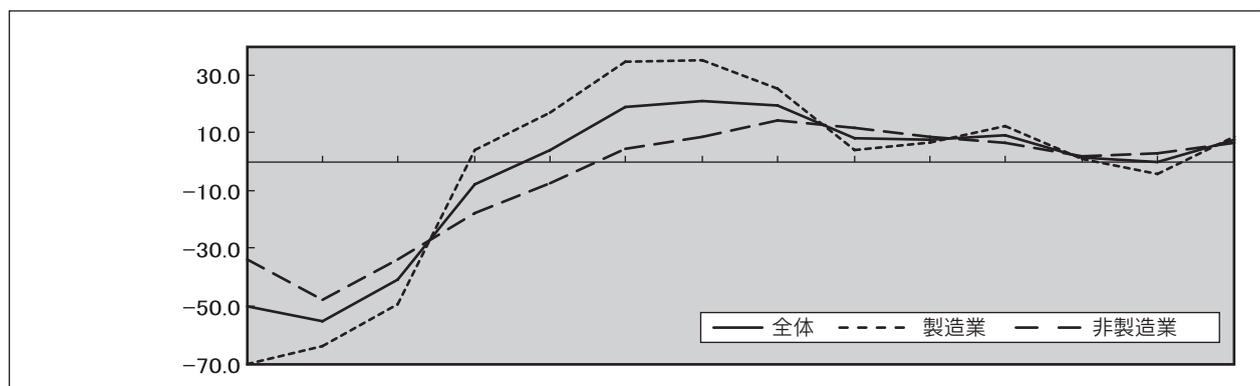
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
増加	7.4	7.8	13.4	35.6	43.9	54.2	54.2	44.6	34.0	33.6	36.2	27.9	19.2	22.3
横ばい	15.4	20.6	23.9	32.9	29.1	26.1	26.8	36.0	35.9	39.5	39.9	45.0	56.9	63.8
減少	77.2	71.6	62.7	31.5	27.0	19.7	19.0	19.4	30.1	27.0	23.9	27.1	23.8	13.8
D. I.	-69.8	-63.8	-49.3	4.1	16.9	34.5	35.2	25.2	3.9	6.6	12.3	0.8	-4.6	8.5

売上高状況 (うち非製造業のみ)

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
増加	17.2	11.9	15.4	21.5	26.2	35.3	32.5	34.6	37.2	34.1	36.8	31.5	24.9	23.8
横ばい	31.6	28.6	35.2	39.0	39.9	34.0	43.3	45.1	37.2	40.1	32.7	38.7	53.3	58.9
減少	51.1	59.5	49.4	39.5	33.9	30.8	24.1	20.3	25.6	25.8	30.4	29.8	21.9	17.3
D. I.	-33.9	-47.6	-34.0	-18.0	-7.7	4.5	8.3	14.4	11.6	8.4	6.4	1.8	3.0	6.5



(1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D.I.は1.3となり、前期より7.8ポイント悪化の回答となった。

先行きについては、24年7~9月期は7.4と今期より、改善予想となっている。

(2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業は前期比11.5ポイント悪化、非製造業は4.6ポイント悪化となり、除々にポイントは低下してきた。

先行きについては、製造業、非製造業とも24年7~9月期に向けて、改善予想となっている。製造業は4~6月期に悪化するが、7~9月期には改善予想である。

Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

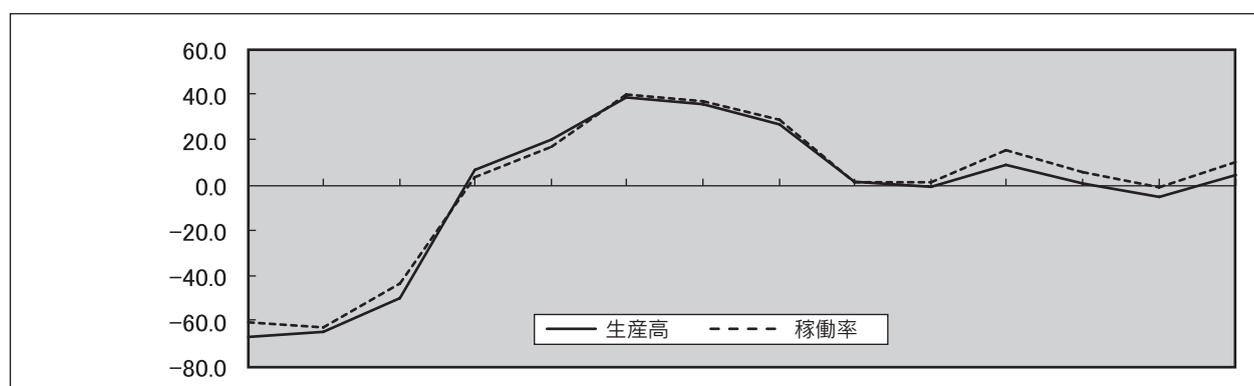
(%) 見込 予測

期別 種別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
20%以上増加	0.7	0.0	2.2	12.9	19.4	19.9	20.0	16.9	11.9	6.7	6.5	6.1	3.9	3.1
20%未満増加	5.2	7.1	9.5	24.3	26.6	35.5	33.3	28.7	19.8	21.5	28.1	22.1	16.3	17.8
横ばい状況	21.6	20.6	26.3	32.1	28.1	28.4	28.9	35.3	37.6	43.0	39.6	44.3	54.3	62.8
20%未満減少	32.7	36.2	38.0	22.1	18.7	15.6	15.6	14.7	21.8	24.8	22.3	25.2	20.9	12.4
20%以上減少	39.9	36.2	24.1	8.6	7.2	0.7	2.2	4.4	8.9	4.0	3.6	2.3	4.7	3.9
D . I .	-66.7	-65.2	-50.4	6.4	20.1	39.0	35.6	26.5	1.0	-0.7	8.6	0.8	-5.4	4.7

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
上 昇	0.7	0.0	2.9	13.6	21.4	22.3	19.4	19.1	12.1	5.6	7.4	6.4	3.9	2.4
やや上昇	6.6	8.1	10.2	22.9	22.1	31.7	34.3	25.0	19.2	20.1	29.6	21.6	17.3	22.2
横ばい	25.0	21.3	29.9	30.7	30.0	32.4	29.1	40.4	38.4	50.0	41.5	49.6	56.7	61.1
やや下降	22.4	33.1	38.0	22.9	18.6	11.5	15.7	11.8	20.2	19.4	18.5	19.2	17.3	8.7
下 降	45.4	37.5	19.0	10.0	7.9	2.2	1.5	3.7	10.1	4.9	3.0	3.2	4.7	5.6
D . I .	-60.5	-62.5	-43.8	3.6	17.1	40.3	36.6	28.7	1.0	1.4	15.6	5.6	-0.8	10.3

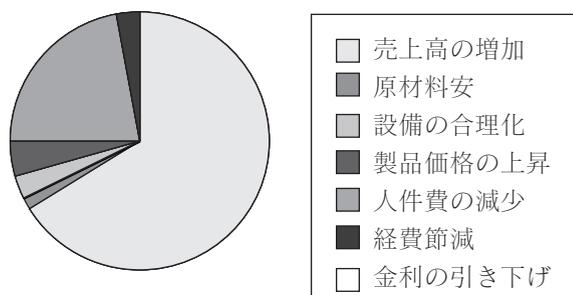


(1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は0.8となり、前期比7.8ポイント悪化となった。

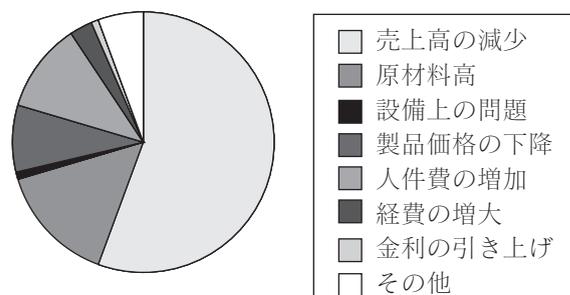
先行きについて、生産高状況は24年4～6月▲5.4と悪化予想となっているが、売上高状況と同様に7～9月期には改善を予想している。

(2) 稼働率の先行きについても、4～6月期にはマイナスポイントとなり、悪化予想である。しかし、7～9月期には改善予想となっている。

好転理由



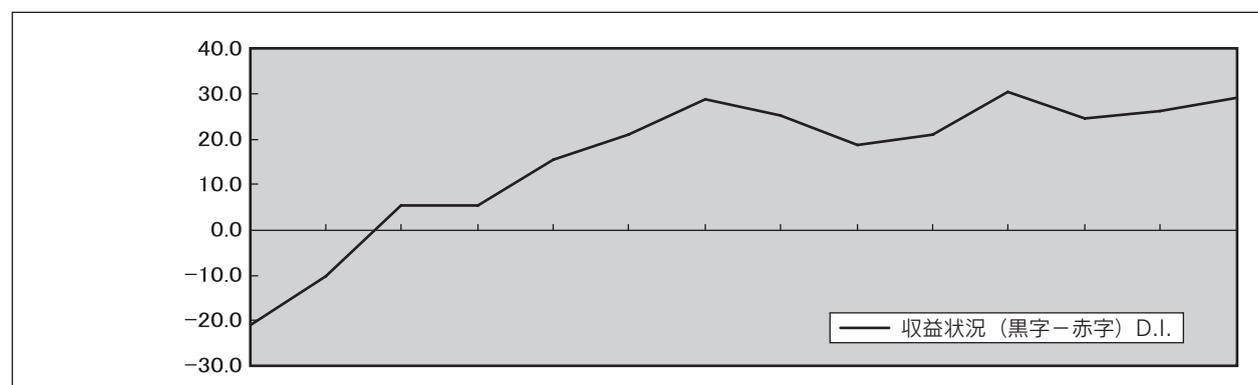
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比16.3ポイント悪化し、▲8.3となった。前期予想の▲12.8まで、悪化はしなかったが、マイナスポイントとなった。先行きについては、7～9月期は9.4となり、改善予想となっている。
- (2) 今期収益が好転した理由は、前回調査に比べ、「経費削減」が5.8ポイント、「人件費の減少」が1.3ポイント増加した。しかし、ポイントとしては最も高い「売上高の増加」が前期より7.3ポイント低下した。
- (3) 収益が悪化した理由では、「売上高の減少」「経費の増大」とするポイントが前期より増加した。「原材料高」「人件費の増加」を理由とするポイントは減少している。先行きについては、「売上高の減少」とするポイントが最も高く、次に「製品価格の下落」「経費の増大」となっている。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	21年												22年			23年				24年											
	4～6月			7～9月			10～12月			1～3月			4～6月			7～9月			10～12月			1～3月			4～6月			7～9月			
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
黒字	19.0	23.5	27.0	28.5	36.0	41.7	43.2	43.6	40.8	43.4	47.4	44.3	40.1	41.0																	
収支トントン	41.1	42.6	51.3	48.3	43.3	37.6	42.5	38.1	37.2	34.2	35.9	36.0	46.0	47.2																	
償却後赤字	39.9	33.9	21.7	23.2	20.7	20.7	14.3	18.3	22.0	22.5	16.8	19.7	13.8	11.8																	
D.I.	-20.9	-10.3	5.3	5.3	15.3	21.0	28.9	25.3	18.8	20.9	30.6	24.6	26.3	29.2																	



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は24.6となり、前期比6.0ポイント悪化となった。収益状況は改善してきていたが、今回調査では悪化となった。先行きについても緩やかに改善する予想となっている。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月
不足	2.2	3.5	3.1	1.1	4.5	4.9	6.2	4.6	7.1	4.5	1.3	3.8	3.4	5.0
適正	79.2	84.0	83.5	87.7	87.2	87.8	84.8	87.1	80.2	87.1	90.4	87.4	90.6	90.8
過剰	18.6	12.5	13.3	11.1	8.3	7.3	9.1	8.3	12.6	8.3	8.3	8.8	6.0	4.2
D . I .	-16.4	-9.0	-10.2	-10.0	-3.8	-2.4	-2.9	-3.8	-5.5	-3.8	-7.1	-5.0	-2.6	0.8

製品在庫水準 (うち製造業のみ)

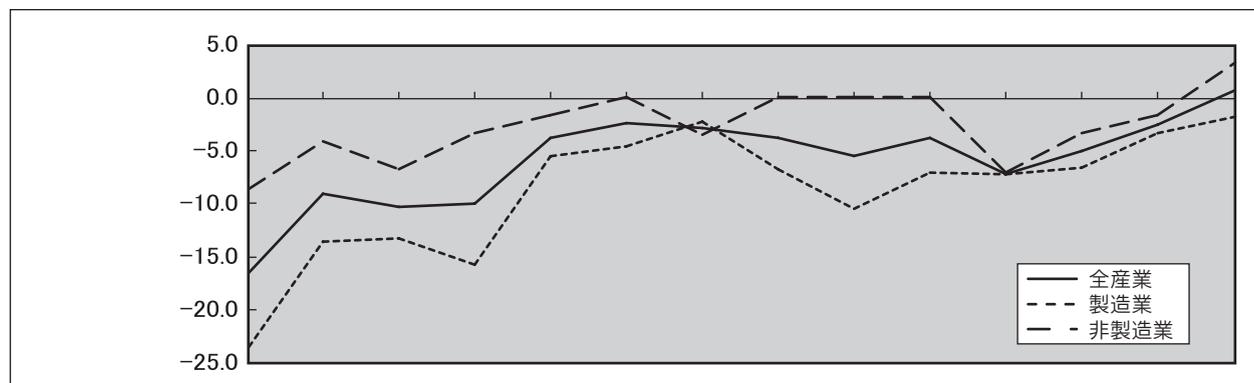
(%) 見込 予測

期別 種別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月
不足	2.1	4.5	3.7	0.0	5.5	5.2	7.8	4.5	6.3	4.3	1.6	4.1	3.4	4.2
適正	72.4	77.4	79.3	84.3	83.4	85.1	82.2	84.1	77.1	84.4	89.6	85.1	89.9	90.0
過剰	25.5	18.0	17.0	15.7	11.0	9.7	10.1	11.4	16.7	11.3	8.8	10.7	6.7	5.8
D . I .	-23.4	-13.5	-13.3	-15.7	-5.5	-4.5	-2.3	-6.8	-10.4	-7.1	-7.2	-6.6	-3.4	-1.7

製品在庫水準 (うち非製造業のみ)

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月
不足	2.3	2.4	2.5	2.5	3.3	4.5	4.4	4.6	8.1	4.9	0.9	3.4	3.4	5.9
適正	86.8	91.1	88.3	91.7	91.7	91.0	87.7	90.7	83.7	90.2	91.3	89.7	91.4	91.6
過剰	10.9	6.5	9.2	5.8	5.0	4.5	7.9	4.6	8.1	4.9	7.8	6.8	5.2	2.5
D . I .	-8.5	-4.1	-6.7	-3.3	-1.7	0.0	-3.5	0.0	0.0	0.0	-7.0	-3.4	-1.7	3.4



(1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、24年1~3月期は▲5.0となり、前期比2.1ポイント改善するが、在庫過剰が高い状況である。先行きについては、4~6月は▲2.6、7~9月は0.8と改善予想となっている。

(2) 業種別では、製造業、非製造業とも、前期比改善となっているが、マイナスポイントであり、在庫過剰の回答が多い。

先行きについても、更に改善する予想となっているがマイナスポイントであり、まだ在庫過剰の予想である。非製造業は7~9月には在庫不足となる予想となっている。

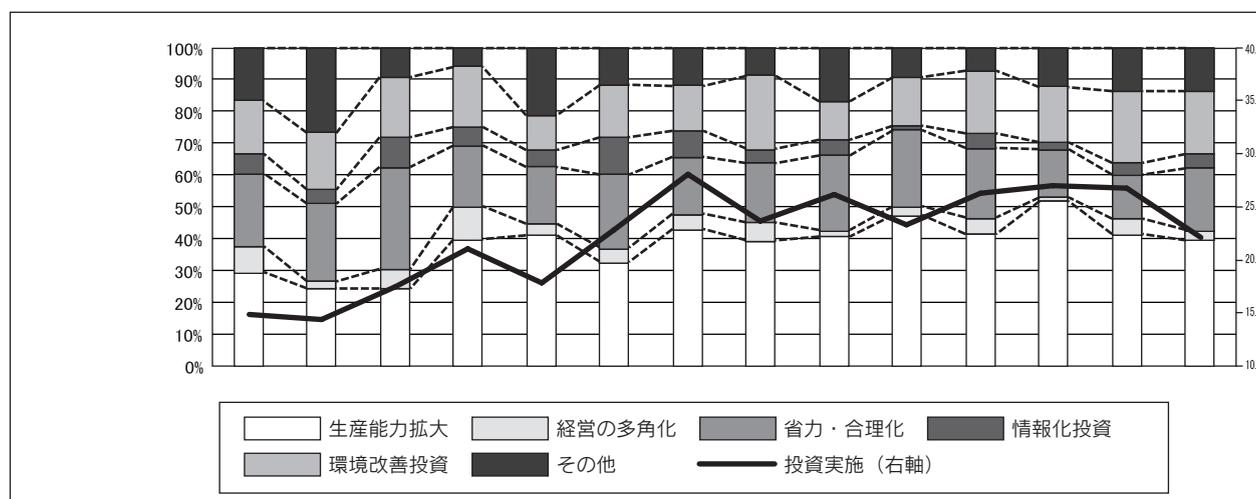
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	21 年												22 年			23 年			24 年		
	4～7～10～			1～4～7～10～			1～4～7～10～			1～4～7～10～			1～4～7～10～								
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	3月	6月	9月				
投資実施	14.8	14.4	17.4	21.0	17.7	22.8	28.1	23.6	26.1	23.2	26.3	27.0	26.7	22.0							
投資せず	85.2	85.6	82.6	79.0	82.3	77.2	71.9	76.4	73.9	76.8	73.7	73.0	73.3	78.0							

設備投資の目的（実施先について）

	21 年												22 年			23 年			24 年		
	4～7～10～			1～4～7～10～			1～4～7～10～			1～4～7～10～			1～4～7～10～								
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	3月	6月	9月				
生産能力拡大	29.2	24.4	24.5	39.7	41.1	32.4	42.9	39.1	40.7	47.3	41.5	51.9	41.3	39.4							
経営の多角化	8.3	2.2	5.7	10.3	3.6	4.4	4.8	5.8	1.7	2.7	4.9	1.2	5.0	3.0							
省力・合理化	22.9	24.4	32.1	19.1	17.9	23.5	17.9	18.8	23.7	24.3	22.0	14.8	13.8	19.7							
情報化投資	6.3	4.4	9.4	5.9	5.4	11.8	8.3	4.3	5.1	1.4	4.9	2.5	3.8	4.5							
環境改善投資	16.7	17.8	18.9	19.1	10.7	16.2	14.3	23.2	11.9	14.9	19.5	17.3	22.5	19.7							
その他	16.7	26.7	9.4	5.9	21.4	11.8	11.9	8.7	16.9	9.5	7.3	12.3	13.8	13.6							



(1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全産業の27.0%と、前期比0.7ポイント増加した。

先行きについても、4～6月期には26.7%の企業が設備の実施を予定している。

実施の目的別では、「生産能力拡大」とするポイントが前期より10.4ポイント増加している。

(2) 業種別では、実施ポイントが高いのは製造業では「電子部品製造」「高岡銅器」「医薬品製造」であった。非製造業では「不動産業」「運送業」「医療福祉」が高くなった。

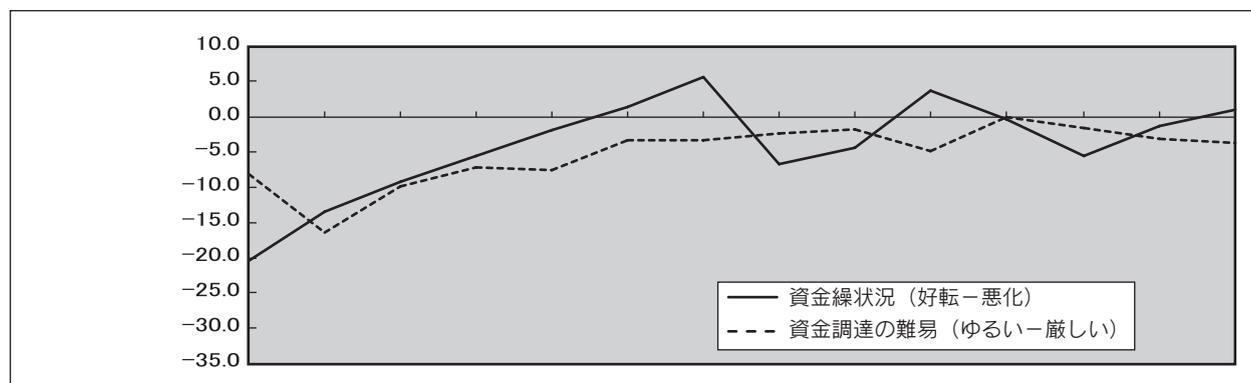
目的別では、生産販売能力拡大が最も多いが、金属製品製造、電子部品製造では、省力合理化が高いポイントとなっている。また、環境改善を目的とする設備も高くなっている。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	6.2	7.7	5.9	9.0	10.1	9.8	13.7	5.5	11.5	10.0	9.9	7.0	9.1	10.1
変 わ ら ず	67.3	71.0	79.1	76.3	77.9	81.8	78.3	82.2	72.6	83.8	79.8	80.3	80.5	80.9
悪 化	26.5	21.3	15.0	14.6	12.0	8.4	8.0	12.3	15.9	6.2	10.3	12.7	10.4	9.1
D . I .	-20.4	-13.5	-9.2	-5.6	-1.9	1.3	5.7	-6.8	-4.4	3.7	-0.3	-5.7	-1.3	1.0



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
ゆ る い	5.9	5.1	7.3	9.7	10.2	9.6	9.9	12.1	11.8	10.1	12.6	12.5	11.5	10.5
厳 しく ない	79.9	73.3	75.4	73.3	72.1	77.3	76.9	73.4	74.7	74.8	74.8	73.3	74.0	75.2
厳 し い	14.2	21.5	17.3	17.0	17.8	13.1	13.3	14.5	13.6	15.1	12.6	14.2	14.6	14.3
D . I .	-8.3	-16.4	-10.0	-7.2	-7.6	-3.4	-3.4	-2.4	-1.8	-5.0	0.0	-1.7	-3.1	-3.8

(1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、▲5.7と前期比5.4ポイント悪化した。資金繰り状況は、前期より悪化とするポイントが高くなってきている。

先行きについては、7～9月期は1.0ポイントと改善していく予想となっている。

(2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、▲1.7となり、前期より悪化した。先行きについては、ゆるいとの回答が減少し、悪化予想となっている。

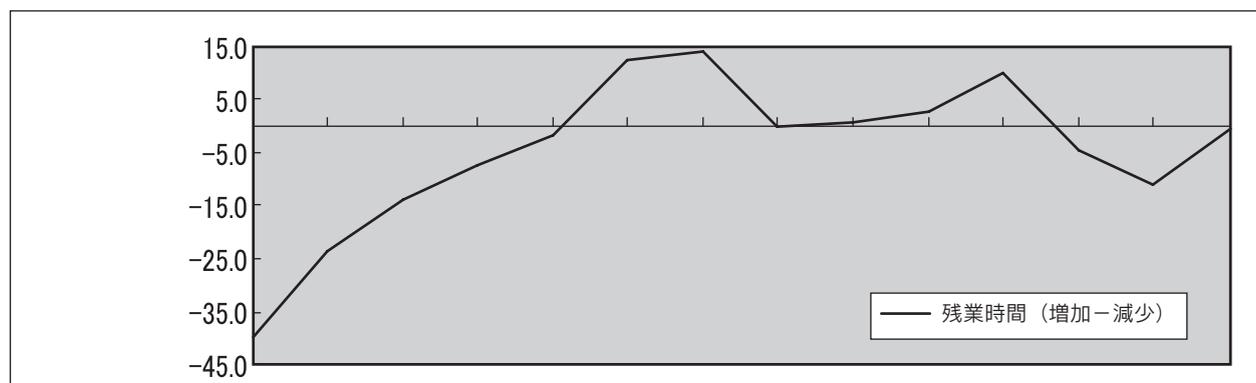
業種別で製造業、非製造業とも悪化予想であり、製造業では窯業土石、繊維業のマイナスポイントが大きい。非製造業では運送業、不動産業がマイナスポイントであり、厳しいとの回答となっている。

VIII. 労務事情

残業時間

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
増加	4.3	11.3	12.1	15.4	19.0	22.4	24.6	17.4	20.0	16.9	20.1	14.8	6.5	9.3
横ばい	51.6	53.6	61.6	61.4	60.0	67.2	64.8	64.9	60.5	68.5	69.7	65.5	76.0	80.7
減少	44.1	35.1	26.3	23.2	21.0	10.3	10.6	17.7	19.5	14.6	10.2	19.7	17.6	10.0
D . I .	-39.8	-23.7	-14.2	-7.8	-2.1	12.1	14.1	-0.4	0.5	2.4	9.9	-4.9	-11.1	-0.8

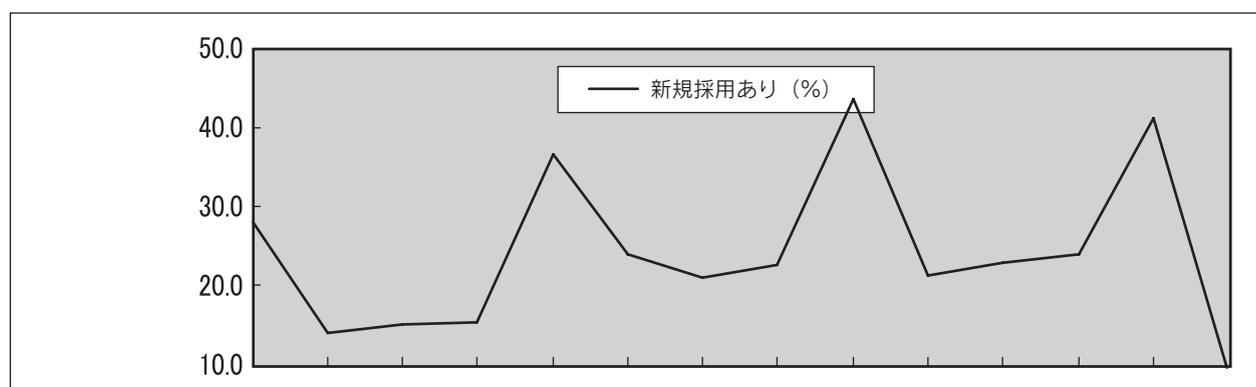


- (1) 残業時間D.I.は24年1～3月期▲4.9となり、1年振にマイナスポイントとなった。
 製造業の稼働率は増加しており、製造業は残業時間が増加しているが、非製造業の残業時間の減少が要因となっている。
 先行きについては、4～6月は製造業も減少予想であるが、7～9月には増加予想となっている。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年			22 年			23 年			24 年				
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
全産業	28.1	14.0	15.2	15.3	36.5	24.1	20.9	22.6	43.7	21.3	22.9	24.0	41.1	7.7
(うち製造業)	22.7	10.0	12.9	15.6	34.5	31.9	22.5	25.9	42.2	17.6	18.6	20.0	45.0	4.7
(うち非製造業)	32.8	17.4	17.2	15.1	38.3	17.0	19.5	19.6	45.0	24.6	26.5	27.1	38.2	10.0

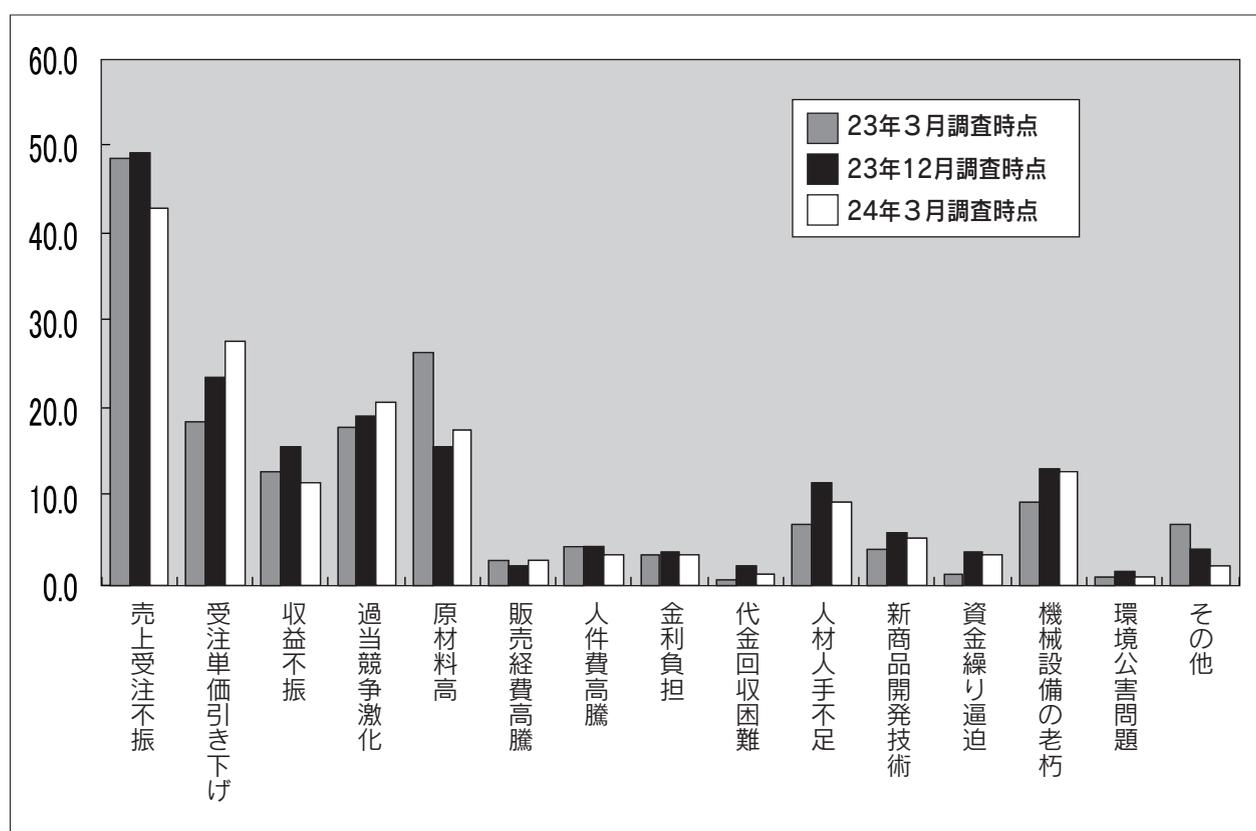


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業の24.0%が新規採用を行っている。
 24年4～6月では、41.1%が新規採用を予定しており、前年同期(43.7%)並みとなっている。7～9月期には7.7%と大きく減少予想となっている。

IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	23年3月 (前回)	23年12月 (前回)	24年3月 (今回)			前回は増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	48.6	49.0	42.7	(42.3)	(42.9)	-6.3
受注単価引き下げ	18.5	23.4	27.7	(30.8)	(25.3)	4.3
収益不振	12.7	15.4	11.3	(12.3)	(10.6)	-4.1
過当競争激化	17.8	18.9	20.7	(18.5)	(22.4)	1.8
原材料高	26.4	15.4	17.3	(20.8)	(14.7)	1.9
販売経費高騰	2.7	1.9	2.7	(2.3)	(2.9)	0.8
人件費高騰	4.1	4.2	3.3	(1.5)	(4.7)	-0.9
金利負担	3.1	3.5	3.3	(0.8)	(5.3)	-0.2
代金回収困難	0.3	1.9	1.0	(0.8)	(1.2)	-0.9
人材人手不足	6.8	11.5	9.3	(8.5)	(10.0)	-2.2
新商品開発技術	3.8	5.8	5.0	(10.0)	(1.2)	-0.8
資金繰り逼迫	1.1	3.5	3.3	(3.8)	(2.9)	-0.2
機械設備の老朽	9.2	13.1	12.7	(13.8)	(11.8)	-0.4
環境公害問題	0.7	1.3	0.7	(0.8)	(0.6)	-0.6
その他	6.8	3.8	2.0	(2.3)	(1.8)	-1.8



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振42.7%(前期比▲6.3ポイント)、②受注単価引下げ27.7%(前期比+4.3ポイント)、③過当競争激化20.7%(前期比+1.8ポイント)の順になっている。
- (2) 前期より大きく増加したのは、「受注単価引下げ」であった。また、減少したのは「売上受注不振」「収益不振」「人材人手不足」となっている。
- (3) 受注単価引下げの高いポイントの業種は、金属製品製造、電子部品製造、プラスチック製造であった。
非製造業では、鋼材建材販売、卸売業が高いポイントとなっている。

X. 為替変動に対する影響

項 目		見込			予測 (%)	
		23年7～9月	23年10～12月	24年1～3月	24年4～6月	24年7～9月
売 上 高	好 転	0.7	0.4	0.4	1.1	1.1
	悪 化	7.6	8.5	7.5	6.4	5.7
	影響なし	91.7	91.1	92.2	92.5	93.2
仕 入 高	好 転	4.9	3.0	1.9	2.3	2.6
	悪 化	2.5	3.4	8.7	8.7	9.1
	影響なし	92.6	93.6	89.4	89.0	88.3
営 業 利 益	好 転	3.2	1.9	1.5	1.9	2.3
	悪 化	6.7	8.3	9.8	9.1	9.8
	影響なし	90.1	89.8	88.7	89.0	87.9

- (1) 見込、予測については、前期比の予想について回答を求めた。今回268社からの回答があり、1～3月では、売上高については7.9%から影響があると回答があった。うち、7.5%の企業は売上高が悪化したとの回答であった。前期より悪化したとのポイントが1.0ポイント改善した。
- (2) 仕入高については、10.6%が影響ありと回答。うち8.7%が悪化したと回答であった。悪化したとするポイントが大幅に増加した。営業利益では、11.0%が影響があるとし、9.1%が悪化したと回答している。
- (3) 先行きについては、売上高に影響があるとのポイントが減少しており、悪化するとのポイントも減少している。
仕入高に対する影響は、増加しており、悪化するとのポイントが増加予想となっている。